



2012年12月11日

季節性インフルエンザワクチン ASP7374 の 第 III 相臨床試験における治験薬接種完了のお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦）と株式会社 UMN ファーマ（本社：秋田、社長：平野 達義）が共同で開発を進めている季節性組換えインフルエンザ HA ワクチン ASP7374（旧開発コード：UMN-0502）の第 III 相臨床試験において、被験者全例への治験薬接種が完了しました。

この臨床試験では、高齢被験者 1,020 名を対象に ASP7374 と国内既承認孵化鶏卵ワクチンの免疫原性及び安全性を比較検討し、既承認ワクチンに対する ASP7374 の非劣性を検討することを主な目的としています。

ASP7374 は、3 種類の抗原からなる季節性組換えインフルエンザ HA ワクチンで、バイオ医薬品の次世代製造プラットフォームである BEVS (Baculovirus Expression Vector System) を用いた細胞培養法で製造されています。米国では、Protein Sciences Corporation が本ワクチンの臨床試験を終了し、現在、FDA が承認審査を行っています。

お問い合わせ先
アステラス製薬株式会社 広報部 TEL:03-3244-3201 FAX:03-5201-7473
株式会社 UMN ファーマ 事業開発部 TEL:045-624-8341 E-mail: press@umnpharma.com